青森県立美術館
AOMORI MUSEUM OF ART

青森県立美術館ドラマリーディングクラブ定期公演

「仰臥漫録」（抄）

原作 正岡子規　脚本・構成・演出・選曲／長谷川孝治
（青森県立美術館舞台芸術総監督）

AOMORI MUSEUM OF ART
DRAMA READING CLUB

喰う
寝る
見る
生きる

2019年
6月8日（土）
開演15：00 ※受付開始・開場14：30
青森県立美術館 シアター

出演者
青森県立美術館ドラマリーディングクラブ
金恵美子　田中昌子　會津悦子　小野寺圭子
福田寿枝　菊地泰子　今ゆき子
ゲスト出演
新井和之（演劇「津軽」太宰治役）

www.aomori-museum.jp

生きるということと言葉と格闘するということ

脚本・構成・演出・選曲／青森県立美術館舞台芸術総監督　長谷川孝治

はじめて『仰臥漫録』を読んだ衝撃をわたしはまだ忘れない。

喰って糞して寝る。喰って糞して寝る。そのプリミティブな行為がこれでもか、これでもかと出てくる。

死ぬか、生きのびるか。我が身に明日はあるかないか。言葉が出てくる場所はどこか。

なべて、詩人は冥土に属していて、言葉はおそらく詩人が生まれる前からあって、詩人は冥土と「ここ」を行き来して言葉を紡ぐ。ひとつの作品を書くとは、少しの間死んでいることなのであるから。

朝起きる、台所に立って朝食の準備をする。火を起こし、鍋をかけ、炊飯器からご飯をよそう。そして、孤食だったり家族食だったりする食卓から離れて茶碗や皿や箸を洗い、お茶を喫する。昼、ある者は弁当を広げ、またある者は台所で蕎麦や索麺を茹でたぐる。それから又器を洗って、それを拭きながら夕飯の献立を考える。晩、家族が帰ってきたり、相変わらず孤独に料理をこさえて食す。そしてまた食器を洗い、翌日の下ごしらえや買い物をして、眠る。

そんな淡々とした、平凡な暮らしは嫌だ。あたしもしくはオレはもっと別で変化に富んだ一生を送りたい。ただ、台所と寝床をいったりきたりする生活は生きる事じゃない。そう思う人もいる。それは間違ってはいない、しかし、間違ってはいないが原則的ではない。

うろ覚えだが、太宰治の長兄である津島文治氏に「めし」と題するエッセイがあって、その中で氏は「めし、このめしを噛みしめること、それが生きることだとわたしは思う」と書いていて深く感じ入ったこともあった。

『仰臥漫録』には食魔のような子規と、詩人の子規がいる。生きることはすなわち言葉を探すこと（自分を探すことに等しい）である詩人が、食欲と死を発見欲と生に昇華する瞬間がある。その刹那に出る一句のなんと美しいことか。

連綿と出てくる食物記録は、言葉渉猟の助走である。

淡々として平々凡々たる生活は、だから退屈だが貴重なのだ。だから原則だがスプリングボードなのだ。

コンビニエントでコストパフォーマンスがいいことが生きる目標になってしまっている現在。便利でもなくお得でもない『仰臥漫録』は貴重である。

そして、生き抜く悲惨も生きている幸福もある。さらには人間にとって必然である死ぬことに関しての大なる参考書でもあるのだ。

「仰臥漫録（ぎょうがまんろく）」（抄）

原作 正岡子規

脚本・構成・演出・選曲／長谷川孝治

（青森県立美術館舞台芸術総監督）

2019年 6月8日（土）開演15：00

青森県立美術館シアター

全席自由

※受付開始・開場14：30

◎料金

一般／1、000円

大学生・60歳以上／500円

◎チケット販売プレイガイド
（販売は公演前日まで）

青森市　成田本店しんまち店
　　青森県立美術館ミュージアムショップ
弘前市　ヒロロ
八戸市　ラピア
五所川原市　ELMインフォメーション

◎事務局チケット予約
小・中・高校生無料ご招待！

事務局にて前売チケットのご予約が可能です。また、小学4～6年生・中学生・高校生の皆さまを先着60名まで無料招待いたします。電話・FAX・Eメールにて以下項目を事務局までお伝えください。

（1）ご希望の券種・鑑賞人数
（2）ご予約者（代表者）氏名
（3）代表者のご連絡先
　（電話番号・FAX・メールアドレスのいずれか）

［学生招待お申し込みの方のみ］

（4）ご招待者の氏名・学校名・学年

※ご予約受付は、公演の前日17時まで。
公演当日受付にて精算・発券となります。
※個人情報は厳重に管理し、本公演以外の目的では使用しません。

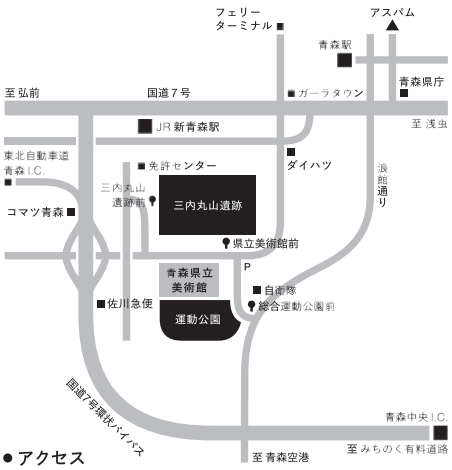
◎無料託児サービス（1歳から小学3年生まで）

キッズルームにて開場から終演までの間、託児サービスを行います。5月31日（金）までにお申し込みください。

◎当日のご注意

・待合所として、コミュニティホールをご利用いただけます。
・シアター内でのご飲食はご遠慮ください。
・受付場所は美術館1階シアター前となります。
・受付順のご入場となります。

主催／青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会
　　青森県立美術館



●アクセス

・青森駅の青森市営バス「青森駅前6番」バス停から「三内丸山遺跡」行きに乗車、「県立美術館前」下車（所要約20分）
・新青森駅のルートバスねぶたん号「新青森駅東口」バス停から乗車、「県立美術館前」下車（所要時間約10分）
・青森空港から車で約20分
・東北縦貫自動車道青森I.C.から車で約5分
・青森自動車道青森中央I.C.から車で約10分（八戸方面から）

【お申し込み・お問い合わせ】青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会事務局 〒038-0021 青森市安田字近野185
TEL 017（783）5243（平日9時～17時）　FAX 017（783）5244
Eメールアドレス drama@aomori-museum.jp